

先輩移住者の
新しい暮らし

喧騒から離れたら仕事も暮らしも質がアップ！
フルリモートが移住の決め手。



秋田市暮らしの、
はじめかた。

柴田さんの場合

STEP
1

二拠点生活を見据えて、
まずは基盤作り。

将来的に秋田に拠点を置きながらフルリモートワークで東京の仕事ができるよう、スキルを身につけ、会社との信頼関係を築きました。

STEP
2

秋田市と秋田県の移住サポートを申請。

会社から二拠点の許可が出てから、秋田市と秋田県の移住支援に申請。移住するための諸費用と、仕事環境を整える費用のサポートを受けることができました。

柴田 好紀さん

Profile

- 埼玉県から移住
- 34歳
- 秋田県由利本荘市矢島町出身
- 会社員

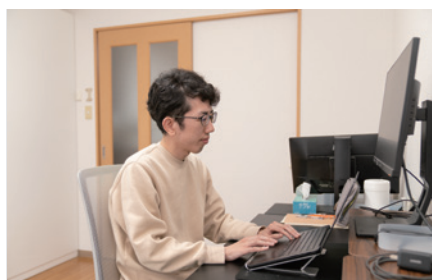
意外と都市機能が充実している 秋田市。程よく暮らしやすい。

フルリモートでの勤務が可能になったとき、「東京にいらなくても仕事ができるなら、地方で暮らしてみたい」と思いました。もともと人混みが苦手で、ゆったりとした環境への憧れがあったのです。

移住先の候補には仙台や新潟なども挙がりましたが、最終的に選んだのはふるさと・秋田。私の出身は由利本荘市の矢島町で、秋田市に住んだことはなかったため、まず移住体験制度を活用しました。交通の便やスーパー・商業施設の充実度を実際に確認し、「これなら暮らしていける」と手応えを感じて決断しました。

支援制度はしっかり活用しました。助成金があることは移住前からなんとなく知っていたので、移住が可能になった時点ですぐに窓口へ。移住支援金に加え、県からはリモートワーク環境を整えるための費用も補助してもらいました。自由に使える資金があることで、新生活の立ち上がりがとても楽になりましたね。

現在は隔月に1回、1週間ほど東京に戻る以外は、秋田市の自宅でリモートワークで働いています。



カフェや図書館で ゆったりと過ごせる日々。 人生に余裕が生まれました。

秋田市暮らしで気に入っているのは、なんといっても人混みのなさ。気持ちに余裕が生まれます。お気に入りの場所は県立図書館で、静かでゆったりとした空間にただで気持ちが落ち着きます。カフェ巡りも楽しみのひとつで、個人経営のこじんまりしたカフェでのんびり過ごす時間が心地よいですね。東京にいた頃は大手チェーンにしか行かなかったので、こういうお店の良さに気づけたのも秋田のおかげです。

大変なことといえば、やはり冬の寒さと雪ですね。ただ、出身地の由利本荘市矢島町と比べると秋田市内は積雪が少なく、風が強い日もあるものの毎日ではないので、思ったより乗り越えられています。

これからの楽しみは、音楽仲間を作ること。趣味でベースを弾いていて、秋田市内で一緒に音楽を楽しむ仲間ができたかと思っています。地元の友人が遊びに来てくれることもあります。新しい出会いも大切にしていきたいです！

秋田市暮らし、本音のところ。

よかったところ

ゆったりと過ごせるけど
利便性も十分

都会の人混みが苦手なので、秋田市の人口密度が心地よいです。私は秋田市の中心部に住んでいるので、利便性も程よく整っているなと感じています。

苦労したところ

秋田市の冬は
風が強い！

地元は矢島町なので、雪の多さには慣れていました。…ですが、秋田市は海沿いなので風が強いですね。毎日ではないので、今のところは大丈夫です！